

【本時場面】

- ⑯月日は、とぶようにすぎていきました。
- ⑰ある年の春、草原いっただいに、知らせがつたわってきました。このあたりをおさめているとのさまが、町でけい馬の大会をひらくというのです。そして、一等になったものは、とのさまのむすめとけっこんさせるというのです。
- ⑱この知らせを聞くと、なかまのひつじかいたちは、スーホにすすめました。「ぜひ、白馬にのって、けい馬に出てごらん。」
- ⑲そこでスーホは、白馬にまたがり、ひろびろとした草原をこえて、けい馬のひらかれる町へむかいました。
- ⑳けい馬がはじまりました。たくましいわかものたちは、いっせいかわのむちをふりました。馬は、とぶようにかけます。でも、先頭を走っていくのは、白馬です。スーホのった白馬です。「白い馬が一等だぞ。白い馬ののり手をつれてまいれ。」とのさまはさげびました。
- ㉑ところが、つれてこられた少年を見ると、まずしいみなりのひつじかいはありませんか。そこで、とのさまは、むすめのむこにするというやくそくなどは、知らんぷりをして言いました。「おまえには、ぎんかを三まいくれてやる。その白い馬をここにおいて、さっさと帰れ。」
- ㉒スーホは、かっとなって、むちゆうで言いかえました。「わたしは、けい馬に来たのです。馬を売りに来たではありません。」

【展開の核】

- ㉒スーホは、かっとなって、むちゆうで言いかえました。言い返した相手は、とのさまである。

とのさま：主君または貴人の尊敬語

とのさま扱い＝殿様を遇するように手厚くもてなし、自由勝手にさせること。(広辞苑) いろんなことを言われても、されても言い返すことなど許されない相手である。その相手に対して、スーホは、むちゆうで言いかえたのである。

むちゆう：何かにひどく興奮した勢いで思い切った事をする様子だ。

何か一つの事に心を奪われて、それ以外の事には全く関心を

示さない様子だ。(新明解国語辞典)

かっ：日差しや火の勢いが瞬間的に激しくなる様子。

怒りにかられて思わず興奮する様子。(新明解国語辞典) スーホは、よほどの怒りで我を忘れるほどの興奮をしたに違いない。

【問題】

なぜスーホは、むちゆうでとのさまに言いかえすほど、かっとなったのか。

【追求の過程】

かっとなった原因は、直前の王様の言動である。スーホをそこまでかっさせたのはどこか。

①やくそくなどは、知らんぷりをしたこと。

②「おまえには、ぎんかを三まいくれてやる。」

③「その白い馬をここにおいて、さっさと帰れ。」

スーホの言いかえた言葉の内容から、かっとなった原因を探っていく。

「わたしは、けい馬に來たのです。馬を売りに來たものではありません。」

けい馬：馬場を設け、騎手が騎乗して二頭以上の馬を駆けさせ、勝敗を決する競技。(広辞苑)
もし、とのさまの娘との結婚がめあてだったなら、「やくそくが違うじゃないですか。」という言葉が出るはずである。スーホの言葉から、スーホは純粋に競馬という競技に來たのであって、とのさまの娘と結婚したいという思いなどなかったことが分かる。

「馬を売りに來たではありません。」という言葉から、銀貨が足りないと不満に思っているわけでもない。

「これから先、どんなときでも、ぼくはおまえといっしょだよ。」と約束した白馬を置いていくことなど絶対にありえないことで、それを強要しようとするとのさまを、スーホは断じて許せなかったのである。

【授業記録】

【問題】

なぜスーホは、むちゅうでとのさまに言いかえすほど、かとなったのか。

〈子どもたちから出された予想〉

- ① 家族が大好きだから。
- ② お金が少ないから。
- ③ とのさまが、やくそくをやぶったから。

※ ③について、やくそくについて話し合いを進めていき、選択肢ができる。

【二月二十一日】

〈問題〉スーホはとのさまの娘と結婚したかったのか。

- ① 結婚したかった。(3人)
- ② したくなかった。(25人)
知らなかった。

(6:00～)

T1 どうだい。証拠見つかった。

C1 「ぜひ白馬に乗って競馬にでてごらんよ。」のところは、半分くらい書きを書いてないけれど、場所は少し言われていたかもしれないけれど、結婚させることは言われてなかったら、別にしたくないことになるし、言われていたら、私は②番だと思います。(きたがわゆきの)

T2 続けてお話できる人いる。すいさん。

C2 きたがたゆきのさんに似ていて、「ぜひ、白馬に乗って、けい馬にでてごらん。」と言われて、やくそくとかは別に言われてたかもしれないけど、文章では言われてないから、別にしたくない、しらんあかっただんだと思います。(よしながすい)

C3 知らないという選択肢はないと思います。どうしてかと言うと、「その知らせを聞くと、仲間の羊飼いたちはスーホに勧めました」と書いてあるからです。(ますやとうや)

T3 すいさんと言っている。

C4 ああ。

T4 今の分かる。言っていること。ここ、みんな読んでみるよ。

C (音読)

⑩この知らせを聞くと、なかまのひつじかいたちは、スーホにすすめました。

T5 先生、ちょっと問題作ってみるね。例えばね、「この知らせを聞くと」ってあるでしょ、聞いたのは誰。

C5 なかまのひつじかい。(いけがみれな)

T6 いいですか。賛成。

C (賛成のグーサインを出す)

T7 スーホは違うの。

C 違う。

T8 証拠は、ここだよね。「なかまの羊飼いたちは、」って書いてある。これ、一つの文だから、これを聞いたのは、なかまの羊飼いだよね。じゃあ、勧めたのは誰。

C6 なかまのひつじかい。(てらだじゅんしん)

T9 どう。

C (グーサイン)

T10 分かった。すごいね。ということは、スーホはこの知らせを聞いているのですか、聞いていないのですか。

C 聞いてない。

T11 聞いてないということだよね。スーホは知らないんだね。じゃあ、勧めた時に、結婚の話をしたのかな。

C 言っていない。

T12 これ、おかしくない。だってね、勧める時に、きつと場所とかも言ったはずなんだよ。でも、わざわざここだけ書いてあるのかな。ここが多分、一番勧めている時に、羊飼いたちの勧め方だったんだよ。これ、最初「競馬の大会」って書いてあるでしょ。「競馬の大会に出てごらん。」って言ってる。言っていないね。何て言ってる。

C けい馬に出てごらん。

T13 これ、「競馬の大会」と「競馬」って、同じ、違う。

C 違う。

C7 なんか、三重県の大会みたい。競馬は、練習を…(うかいあやみ)

T14 すごくいいこと言っている。これ、「競馬の大会」だったら、これ、とんさまの娘と結婚させるという商品というかご褒美がついているんだよね。でも、そもそもこの「競馬」というのは、どういう意味か知ってる。

C8 人が馬に乗って、レースする。(とざわれん)

T15 そう。だから、みんなが運動会で徒競走するときの、競争だわな。つまり、簡単に言うくと、スポーツです。だから、さつき、あやみさんが言った練習とかも含めてスポーツだものね。だから、羊飼いたちが勧めた時は、ここを言っているんです。「ぜひ、白馬に乗って、競馬に出てごらんよ。」「スポーツをやっごらんよって、勧めているだよ。」「競馬の大会に出てごらんよ。」「って言えばいいのに、」「しかも、ぜひ出てごらんよ。」「って勧めた訳だし。だから、スーホは、とんさまの娘と結婚することを目的にして競馬に出たかという」と、

C そうじゃないです。

T16 のなので、スーホは、競馬にスポーツとして楽しもうと思って出たということだよ。だとすると、スーホはやくそくを破られても、…結婚したかったのか、そうじゃないのか、一つ解決したね。

C (「結婚したかった」は)ない。

C 分かった。白い馬を置いていきたくなかったからだ。

※という流れで、選択肢③を切る。

「一ちよつと復習するよ。まず、みんな問題読んでくれる。」

「なぜスーホはむちゅうでとのさまに言いかえすほどかっとなったのか。」

「T2とのさまに言いかえすことなんてさあ、有り得ない事やったな。何でかというのと、これだよ。」「むちゅう」なんだよ。他の事とか、相手がとのさまだということとか、みんな飛んじやったっていうんだよ。むちゅうで。それほど、かっとなるなんて、よっぽど許せないことがあったにちがいないよね。だから、それ何なんだろうということを考えていました。三つ出ていました。一つは、兄弟が大好きだから、かっとなった。二つ目、お金が少ないから。お金、どんだけもらえるんだっけ。」

C1 銀貨。

C2 銀貨三枚。

T3 三つ目は、とのさまが、

C4 約束をやぶったから。

T4 約束をやぶったからねえ。約束って、どんな約束だったっけ。おお、休み明けやのに、ずっと手が挙がるね、このクラスは。

C5 とのさまのむすめとけっこんさせる。(とざわれん)

C (グーを出して、賛成を示す。)

T5 だったね。いいかな。で、ここで問題作ったんだね。「スーホは、そもそもとのさまのむすめと結婚したかったのか。それとも、したくなかったのか。それか、知らなかった、という人もいたね。この結婚させるっていうことを、大会の意味を。これについて、みんなで話し合っって、証拠を見つけたんだね。どこだった。だれか、教えてくれないかな。」

C6 18段落の。(よしおかせいや)

T6 18段落って。見える。調べてどうだった。スーホは、大会で優勝したら、結婚できることを知っていたの。知らなかったの。

C 知らなかった。

T7 ということは、結婚したかったから大会に出たのか。そんなこと考えてなかったのか。

C7 羊飼いが言う前に、知っていたか、知らなかったか。言われてから、知ったのか、知らなかったのか。(うかいあやみ)

T8 あやみさん、新しい問題作ったんだよ。あやみさんの言ったのは、ちよつと、ここ再登場してもらおうね。(音読)

「このあたりをおさめているとのさまが、町でけい馬の大会をひらくというのです。そして、一等に
なったものは、とのさまのむすめとけっこんさせるというのです。」

⑱ この知らせを聞くと、なかまのひつじかいたちは、スーホにすすめました。」
ってあるね。スーホは、知ってたのかな、この知らせ。

C8 知ってない。

T9 この知らせを聞くと、ってあるね。聞いてから、しばらくしてから、教えたのかな。

C9 聞いたときにさあ、ひつじかいたちは、みな、もう聞こえてたから、...

T10 ちよつと聞いてもいい。「この知らせを聞くと、仲間の羊飼いたちは、スーホに勧めました」ってあるやん。これって、聞いてから、すぐ教えたのか、勧めたのか、それとも、しばらくしてから、二、三日してからなのか、どっちだと思う。聞いてもいい。みんなのイメージ。あやみちゃんの言いたいことは、こ
うゆうことだよな。

C10 あやは、スーホに勧めましたっていうところで、「⑲そこでスーホは、白馬にまたがり、ひろびろとした草原をこえて、けい馬のひらかれる町へむかいました。」だから、「そこで、」って書いてある。だ

から、すぐ言ったと思う。(うかいあやみ)

「なるほど。ちょっと聞いてみてもいい。まず、すぐ言ったのか。ちょっと、どうしようかなって考えてから言ったのか。」

「それだったらさあ、月曜日に競馬の大会だから、すぐだと思う。」

「聞くよ。考えもった。せいので行くよ。」

〈指示調〉

① すぐに。(25人)

② ちょっと経ってから。(5人)

「知らせを聞いたら、すぐ知らせたというイメージの人が多いのかな。ちょっと聞いてもいい。これさあ、仲間の羊飼いたちは、何でスーホに勧めたのかな。」

「白馬をもっているから。」

「白馬をもっているのを知っているからね。」

「白馬を助けたスーホだから、白馬とこの大会に出て、それで、白馬とスーホが、同じことをかんがえていて、それで、勝てると思ったから。」

「スーホなら勝てるんじゃないかと。スーホと白馬と。」

「(グーサインで賛成多数。)

「羊飼いの中でもさあ、羊をもっている人はいるけど、馬を持っているのはスーホぐらいだから。(はしもとだいき)」

「すごいこと言っているね。これね、羊飼いたちが、みんな、特に若い子たちがね、馬を自由に使って持っているっていうことは、なかなか簡単じゃないらしいね。お馬さんというのは、便利な道具だって森川先生言っていたでしょ。でも、その分だけ、簡単には手に入らなかったり、お馬さんを飼って、自由に走りこなせたり、おうちにお馬さんがいない羊飼いさんもあるかもしれないね。羊に自分が付いて行って、犬とかに追わせることもあるじゃない。なるほど、分かった。だから、羊飼いたちは、スーホが白馬を持っているのをしってたから、勧めたのかもしれないね。」

「競馬だから…」

「自分たちが、スーホと白馬がなかよして、走っているのを見たことがあるんだろうね。」

「すぐ言った。理由説明できる。」

「ただね、仲間の羊飼いたちは、スーホに勧めました、ってあるじゃん。これさ、このお知らせだけ教えてあげれば、スーホ、大会に出るわ、っていうかもしれないでしょ。」

「でも、言えなかったかも、」

「ということとは、何で、勧めたのかって言ったら、それは、スーホが、…。例えばだよ、みんな、「はい、先生の方向きなさい。」って注意したとするやん。「先生の方向向いて勉強した方がいいよ。」って勧めたとするやん。でも、それを勧めるっていうことは、どんな人に勧める。例えばさあ、榊原くんは先生の方を一生懸命見て聞いてくれてるやん。それなのに、「先生の方を見て勉強した方がいいよ。」って勧める。」

「バツ。」

「勧める必要ないやん。」

「ねえ。だって、見てくれているんだもんねえ。ということはだよ、スーホに勧めるということはだよ、スーホは出る気はあったの。なかったの。」

「ない。」

「勧められたから行っただけで。」

「そもそも勧められたから出ただけで、出ようと思う気は。」

C20 ない。

C21 ない。

T22 いいかな。すごい発見したね。これ、あやみちゃんが発見したから、先生も分かった。この知らせを聞いていたか、聞いていなかったかは分からないけれど、でも、スーホ自身は、この大会に出る気は、

C22 ない。

C23 なかった。

T23 つまり、べつに、とのさまのむすめと結婚して大金持ちになろうという欲は。

C24 ない。

C25 そもそもそんなことは知ってない。

T24 だから、仲間の羊飼いたちが勧めたのは、白馬に乗って大会に出てごらんじゃなくて、競馬というスポーツをやってごらんよ、って言っているんだよね。すぐくはつきりしてきたね。スーホという人がね。お金持ちになってやろうとかね、娘さんと結婚させてもらおうとかね、そんな欲がある人では、

C26 ない。

C27 優しい人で、そんな裏があったらいやだ。

T25 ちよつともう一回聞いてもいいかな。結婚したかったのか、そんなこと、考えていなかったのか。いぐよ、せいひの、どっち。

<指示調べ>

①結婚したかった。(0人)

②そんなこと考えていなかった。(30人)

T26 分かった。全員、こっち②なんだ。ということは、約束破りをしたことに、そこまで怒ることは、

C28 ない。

T27 じゃあ、これなくなりました。

C29 お金が少ないもない。

T28 とつうことは、①番か②番か、っていうことだね。

(18:00~)

【問題】

なぜスーホは、むちゅうでとのさまに言いかえすほど、かっとなったのか。

<指示調べ>

①家族が大好き、大切だから。白馬をとられたくないから。(26人) ↓24人

②お金が少ないから。(2人) ↓4人

C30 スーホは脚が早いし、きれいだから、三枚じゃあ。(てらだじゅんしん)

T29 三枚じゃあ、もっともらわなきゃってことね。

C31 めちゃくちゃ速くて、貴重な馬を銀貨三枚で売れない。(かつらりよう)

T30 もっと高いお金だったら考えるけどってことか。

C32 やっぱ②番でお願いします。(よしだゆうすけ)

C33 スーホは、競馬で一等になった馬が、たったの銀貨三枚じゃあ、めちゃくちゃ少なすぎて。

T31 まあ、銀貨がどのくらい値打ちがあるか分からないけどね。

C34 お金で買えない。

T32 じゃあ、どっち。

C35 ②番。

T33 お金が多かったら、売ってあげる。そんな感じなのかな。分かった。じゃあ、みんな、こういう時って、証拠を探して解決しなくちゃいけないでしょ。ここを読んだら証拠が分かるんですよ。ここが事件でしょ。事件の直前や直後を読んだら分かるんだよ。

C36 そっかあ。

T34 じゃあ、証拠探してよ。今から先生、読むからね。行くよ、証拠あったと思ったら、教えてね。後で。(音読)

「おまえには、ぎんかを三まいくれてやる。その白い馬をここにおいて、さっさと帰れ。」

② スーホは、かっとなって、むちゅうで言いかえました。

「わたしは、けい馬に來たのです。馬を売りに來たではありません。」

T35 見つかった人。

C (半数程度が挙手)

T36 ちよっと見つかったところ、近所の人と言いついてみて。

C (一分間)

T37 はい、ゆきのさん。

C37 先生が読んだところで思ったんだけど、オオカミとの戦いの時に、一緒って言っていたから、それだけ離れたくなかったはずだから。(きたがわゆきの)

T38 なるほど、森川先生勉強した時だよね。「よくやってくれたね。ぼくの白馬。これからさき、どんな時でも、ぼくはお前といっしょだよ。」って言ったものね。

C38 先生、見たの。

C39 何で聞いてたの。

C40 前に行ってもいいですか。「馬を売りにきたのではありません。」って、お金がほしいなら、お金が足りないって言うと思うから。(はせがわれい)

T39 お金が足りなかったら、何て言う。

C41 お金が足りん、っていいばい。(じゅんしん)

T40 はせがわくんが見つけてくれた「馬を売りに來たのではありません」ということは、馬を売る気は、

C42 なう。

C43 「私は競馬に來たのです。馬を売りに來たのではありません。」って書いてあるから、馬を売りに來たのではない、って言っているから、お金がほしかったら、「馬を売りに來たのではありません」って言わないから、①番だと思えます。(よしながすい)

C44 意見かわったから、付け足す。(よしだゆうすけ)

C45 すいさんと、じゅんしんさんに似ていて、「馬を売りに來たのではありません」というところで、お金がほしければ、馬を売りに來たのではありませんとは言わない。(うかいあやみ)

T41 だよね。例えば、「銀貨を一〇枚に増やすわ。」と言っても。

C 売らない。

T42 そうすると、今の意見で、①番か②番か、もう一回聞いてみようか。

<指示調べ>

① 家族が大好き、大切だから。白馬をとられたくないから。(26人)

② お金が少ないから。(2人)

T43 このことから、今日勉強したことから、スーホがどうしてここまで、とのさまに言いかえすほど、夢中で言い返すほど、かっとなったのか。もう一度、自分の考えを書いてもらうね。

※ 授業後の感想 ↓ 別紙

「おまえには、ぎんかを三まいくれてやる。その白い馬をここに置いて、ヤツキと帰れ。」

22 スーホは、かっとなって、むちゆうて「いかえしました。」

「わたしは、けい馬に来たのです。馬を売りに来たのでありません。」

なぜスーホは、むちゆうでとのさまに
言いかえすほど、かっとなったのか。

① 家ぞく(兄弟)が大すきだから
たぶん 白馬をとられたくないから

② お金が少ないから
文しゅうと お金がほしいから

~~③ のたまが、やくやくをやぶたから~~

スーホは、とのさまのむすめと

① けんこ入しなかった。

② かんがえていなかった。

POSTAGE
BALANCE